

一羽の鳥が見つけた、

伝説

からす
一羽の鳥との出会いが
1300年の歴史のはじまり…。

山代温泉の歴史は古く約1300年前の神亀2年(725年)に行基という名の高僧が霊峰白山へ修行に向かう途中、傷口を湧水で癒す鳥を見つけたことにより、温泉が発見されたと伝えられています。

鳥といってもただの鳥ではなく、「ヤタガラス」という、神武天皇の道案内をしていたといわれる伝説の三本足の霊鳥。ヤタガラスは太陽の使者、勝利を導く幸運のシンボルとされ、日本サッカー協会のシンボルマークにもなっていることは、ご存知の方も多いでしょう。



総湯のすぐそばにある源泉公園には開湯伝承ゆかりのヤタガラス像があり、その下からは源泉が湧き出ている。



加賀國山代温泉所全図 明治34年(1901年) [金沢市立玉川図書館所蔵]

総湯をモチーフにした引札
(出蔵屋引札/明治21年)
※「引札」とは今でいう広告チラシ



憩いの場「総湯」

江戸時代中期の記録には、「里人多く集まり、手足などを洗いて」とあり、湧き出るお湯で一日の疲れをほぐしていたことがうかがえます。そこでは、まさに「井戸端会議」ならぬ「お湯端会議」なども盛り上がったことでしょう。

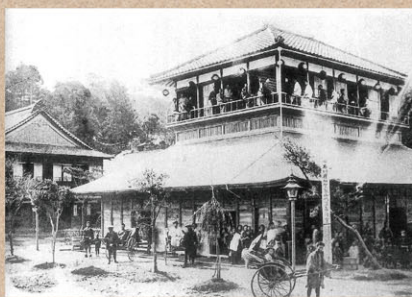
山代温泉。

「湯の曲輪」が語る、

風情

日本の温泉地の原風景「湯の曲輪」

江戸時代の温泉場は共同浴場を中心としてまちが作られていました。共同浴場の周りに温泉宿が立ち並び、湯治客は共同浴場に通ったり、時には自然の中を散策しながら長逗留していました。この共同浴場が「総湯(そうゆ)」です。そして総湯を中心とした周囲の街並みを「湯の曲輪(ゆのがわ)」といい、北陸特有の呼び方となっています。日本の温泉文化を正しく伝え、温泉地の原風景が今も残っているのが山代温泉です。



明治19年築の総湯 ※「古総湯」のモデル。



昭和4年築の総湯

やましろ名所&名物

総湯を訪れたら、
こちらにもぜひどうぞ…

魯山人寓居跡 いろは草庵



大正時代の総合芸術家、北大路魯山人の逗留地が当時のままに公開されている。●定休:水曜 ●TEL.0761-77-7111

足湯&源泉公園



総湯のすぐ側の源泉公園は山代温泉発祥の地。無料で足湯につかることができる。●利用時間 8:00~22:00

はづちを楽堂



ソフトクリームや団子が大人気の茶店やギャラリーがある。展覧会やコンサートも開催。●定休:水曜 ●TEL.0761-77-8270

温泉たまご



じっくりと8時間をかけて温泉の成分がしみ込んだ絶品の味。 ●10個入 600円 ●15個入 900円 ●総湯売店 TEL.0761-76-0144

温泉たまご ソフトクリーム



温泉たまごを使った総湯の名物。温泉たまごが1個そのままドンと乗っている。●1個350円 ●総湯売店 TEL.0761-76-0144

温たまプリン



山代の温泉たまごと、地元・平松牧場産の牛乳を使って、手づくりで仕上げたプリン。土・日限定なのでご注意。●1個200円●はづちを楽堂 TEL.0761-77-8270

ゆかり 縁ある人びと。

明智光秀も訪れた 湯治の地

永禄八年(1565年)五月、傷を負った明智光秀も湯治のため、10日間にわたってこの山代に滞在したと伝え残されています。光秀をはじめとした京の都の人々までもが山代の温泉を知り、まさに全国各地それぞれの文化の香りが、集まったということは、全国各地それぞれ文化の香りが、山代の地でさまざまに行き交ったということでもあります。



温泉寺縁起図(薬王院所蔵)

文化

与謝野晶子、泉鏡花、魯山人も…。

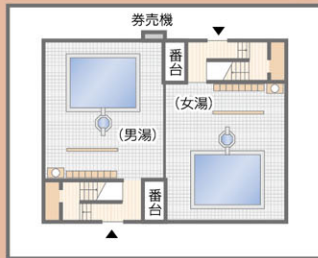
「山代の いで湯に遊ぶ 楽しさは たとえば 古九谷の青」と詠んだ与謝野晶子、「夢もおほろな山代温泉」そんな言葉を記した泉鏡花、そして、食の世界・陶芸の世界に山代の地で遊んだ北大路魯山人…深く積み重ねられた山代温泉の歴史と文化がそれぞれの世界の達人たち、粋人たちの心を捉えずにはおかなかったのでしょう。



源泉かけ流し

明治の歴史情緒あふれる浴室には源泉かけ流しの新鮮な湯がたっぷり。良質の温泉に浸かり心も体もすっきり爽快！

染め付けの
特注で描かれた
絵柄が楽しい



明治期には珍しい
暗でおしゃれな
ステンドグラス



当時の先端 ステンドグラス

ステンドグラスからは明るい陽の光が差し込み赤・青・黄色などの色鮮やかな光が湯船に映し出されます。

壁面は拭き漆 浴槽は滝ヶ原の石

浴室内の壁面は拭き漆となっており、木地の木目の美しさを充分に引き出しより深い艶も出ています。浴槽は小松の滝ヶ原の石を使用しています。

源泉100%

浴槽内は、加水なしの100%源泉を使用。濾過循環方式で衛生面にもしっかり配慮されています。

清潔な浴室には
良質なお湯が
たっぷり！



毎日換水し清掃

浴槽の湯は毎日入れ替えて清掃します。清潔で良質な温泉をいつも楽しめます。

かけ湯槽あり

ここで身体を湯船の温度に慣らして下さい。お湯を汚さないためのエチケットでもあります。



壁面は 九谷焼タイルと檜

山代温泉は再興九谷のふるさと。加賀九谷陶磁器協同組合の作家30名による手描きタイル、多彩な絵柄が楽しめます。タイルの上部は檜張りです。

山代ならではの
多彩な九谷焼タイルは
浴室を華やかに

古総湯とは…
温泉の歴史や
文化を体験する、
山代温泉の
シンボル。
当時の流行の先端を
取り入れた粋な浴室

古の
情 緒 を 肌 で 感 じる



区分	大人 (12歳以上)	中人 (6歳以上12歳未満)	小人 (3歳以上6歳未満)	幼児 (3歳未満)	※その他、定期利用、期間利用、回数券などの制度があります。詳しくは山代温泉財産区までお問い合わせ下さい。(TEL.0761-76-0144)
古総湯 普通料金(1回)	500円	200円	100円	無料	
総 湯 普通料金(1回)	420円	130円	50円		
古総湯・総湯 共通料金(各1回)	700円	250円	120円		

地元の人々に愛されてきた総湯が、2009年8月に新しく建て替えられました。熱交換システムで余熱廃熱を利用したエコな温泉は、毎日総入れ替えの、加水なし100%源泉です。

- 所 在／加賀市山代温泉万松園通2番地1
- 電話番号／0761-76-0144
- 営業時間／午前6時から午後10時まで
- 休 業 日／各月の第4水曜日の午前6時から正午まで(正午から通常営業)
- 泉 質／ナトリウム・カルシウム－硫酸塩・塩化物泉(低張性・弱アルカリ性・高温泉)
単純温泉(低張性・弱アルカリ性・温泉)
の混合泉



総湯

くそうゆ

総湯とは…
誰でも気軽に、
毎日楽しめる
共同浴場。

地元住民が毎日集う、
現代的な明るい浴室

人 々 と の ふ れ あ い の 空 間

明治時代の総湯を復元し、外観や内装だけでなく入浴方法も当時の雰囲気のままに味わうことができます。ステンドグラスや壁・床の九谷焼のタイルなども忠実に再現しています。

- 所 在／加賀市山代温泉18の128番地
- 電話番号／0761-76-0144
- 営業時間／午前6時から午後10時まで
- 休 業 日／各月の第4水曜日の午前6時から正午まで(正午から通常営業)
- 泉 質／ナトリウム・カルシウム－硫酸塩・塩化物泉(低張性・弱アルカリ性・高温泉)



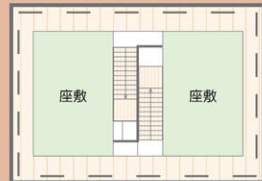
2階休憩所

2階は風通しのいい最上の休憩所となっており風呂上がり外の景色を眺めながら休むこともできます。

湯上がり
湯の香り漂う風を浴び
ひと休み…



2階



2階から見下ろす景色は爽快。

地松の梁

伝統的工法を用いた木組みには梁成60cm以上の立派な地松(国産の松)の梁が使われています。



※写真は建設中のもので実際にはご覧になれません。

標柱

敷地内に建っている標柱も明治時代のものを復元しています。



外装には古瓦と、 こけらぶき屋根

地元の古瓦を使用したり、日本古来から伝わる伝統的手法のこけら葺き屋根も“湯の曲輪”の景観調和に一役かっています。

ご注意

明治期当時のままの入浴方法を再現しています。
昔日の雰囲気の中、ゆっくりと昔ながらの入浴体験をお楽しみ下さい。
(カラン・シャワーの設備はありません。石鹸やシャンプーの使用はお控えください。)

明るい湯の光を
浴びながら
ゆったり寛ぐ

天窓・庭

吹き抜けの天井には大きな天窓が。日が差し込んで湯船や石の床がキラキラ光り爽快です。湯船の横には庭もあります。

外壁は 石川県産杉張り

加賀地方の伝統的民家を思わせる赤瓦に板張りの外壁。お湯を見守る薬王院の山門や木々の緑にじっくり溶け込んでいます。



休憩コーナー

広々と併設。温泉たまごをその場で食べたり、なんと「温泉たまごソフトクリーム」もあります。

旧吉野屋旅館の門

新総湯が建つ場所は、白山ゆかりの旧吉野屋旅館があった場所。歴史と格式を感じさせる吉野屋の門をくぐって総湯に入ります。

床は地元産石張り

浴槽には水田丸の石、洗い場は小松の滝ヶ原石を使用。目が細かく耐久力があり、青味のある灰色が落ち着きを感じさせます。滑らないのもGood！

ご注意

浴室には石けん、シャンプー等の備えはありません。
ご持参になるか番台でお買い求めの上ご利用下さい。

